

平成 27 年度 第 1 回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成 27 年 7 月 27 日

件 名	平成 26 年度 介護予防事業の実施結果について			
所 管 部 課	福祉部高齢サービス課			
内 容	平成 26 年度の介護予防事業の取り組み結果を以下のとおり報告する。			
	1 二次予防事業			
	(1) 通所型介護予防事業(らくらく教室)			
	12回(週1約3ヶ月間)を1クールとして、運動器機能向上を中心に、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防等のプログラムを組み合わせた総合型プログラムで実施した。			
		会場数(箇所)	開催数(クール)	参加者数(人)
	平成 26 年度(実績)	41	93	1,370
	平成 27 年度(目標)	47	98	1,508
	(2) 介護予防セルフプラン事業			
	二次予防事業対象者が、らくらく教室に参加しない場合でも、地域包括支援センターが高齢者本人と面談を行い、各々の生活状況に応じた介護予防プランを作成し介護予防の取り組みを支援した。			
		参加者実数(人)		
平成 26 年度(実績)	212			
平成 27 年度(目標)	250			
2 一次予防事業(はつらつ教室)				
(1) 通所型介護予防事業				
地域学習センター等で、主に運動器機能向上を中心としたプログラムで実施した。				
	会場数(箇所)	開催数(クール・回)	参加者数(人)	
平成 26 年度(実績)	17	218回	3,529	
平成 27 年度(目標)	14	431回	7,104	
	(プール)3	9クール	165	
(2) 公園を活用した介護予防事業(通年実施)				
身近な公園で軽い運動や脳トレ、ウォーキングなどを行った。 (スポーツ振興課実施)				
平成 26 年度(実績)	会場数(箇所)	開催数(回)	延参加者数(人)	
パークで筋トレ	15	442	13,500	
ウォーキング教室	15	20	644	

平成 27 年度 第 1 回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成 27 年 7 月 27 日

件 名	平成 26 年度認知症早期発見・早期診断推進事業の実施状況について
所 管 部 課	福祉部高齢サービス課
内 容	<p>平成 26 年度実施状況がまとめられたので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 実施内容 区に配置した認知症支援コーディネーターと認知症疾患医療センターである大内病院に配置した認知症アウトリーチチームが協働して受診につながっていない認知症の疑いのある人を把握・訪問し、状況に応じて適切な医療・介護サービスにつなげる等の取組みを実施。</p> <p>2 認知症コーディネーターが受けた相談件数 17 件（延べカンファレンス回数 34 回）</p> <p>3 相談結果内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な医療・介護に繋がった 7 件 ・見守り体制が構築された 1 件 ・アウトリーチチーム訪問前に医療（入院）に繋がった 2 件 ・アウトリーチチームから関わり方のアドバイスを受けて終了した 5 件 ・支援体制を構築したが本人・家族の了解が得られず終了 1 件 ・かかりつけ医が対応することになった 1 件 <p>今後も地域包括支援センターからの依頼で認知症の治療に結びついていない人への支援を、認知症疾患医療センターと連携しつつ行っていく。</p>

平成 2 7 年度 第 1 回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成 2 7 年 7 月 2 7 日

件 名	障がい者が働くお店を応援しようキャンペーンについて
所 管 部 課	福祉部障がい福祉課
内 容	<p>国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して、区民に障がい者が働く店を広く周知し、障がい者の就労訓練の場を活性化させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キャンペーン期間 平成 2 7 年 7 月 1 日 ~ 1 2 月 2 8 日 2 対象店舗 2 3 店舗 3 対象店舗限定のクーポン券（チラシに掲載） 1 0 0 円券、2 0 枚つづり。 4 クーポン券の利用方法 対象店舗で、クーポン券に差額現金を合わせてキャンペーン対象品目を購入する。 5 補助率 1 会計 4 割相当分以下 6 補助金交付 対象店舗に対し、クーポン券相当分の補助金交付申請に基づき、書類審査を経た上で、補助金を交付する。 7 クーポン券付きチラシ 平成 2 7 年 6 月下旬に全戸配布した。

平成 2 7 年度 第 1 回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成 2 7 年 7 月 2 7 日

件 名	障害者差別解消法施行に向けた庁内連絡会の実施結果について
所 管 部 課	福祉部障がい福祉課
内 容	<p>1 庁内連絡会実施日時 平成 2 7 年 6 月 1 6 日（火）午後 2 時から午後 3 時まで</p> <p>2 内容 （ 1 ）国の動き（情報提供） （ 2 ）足立区の現状（情報交換） （ 3 ）今後の方針（検討）</p> <p>3 出席者 関係部署の課長 2 3 名</p> <p>4 今後の方針 職員対応要領の作成や地域協議会設置等に向け、庁内連携を進める。</p>

平成 27 年度 第 1 回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成 27 年 7 月 27 日

件 名	足立区障害者就労施設等からの平成 26 年度調達実績の公表について																										
所 管 部 課	福祉部障がい福祉課																										
内 容	<p>国、地方公共団体などが、物品等の調達にあたり、優先的に障害者就労施設から物品等の調達に努めることで、施設で就労する障がい者等の経済面での自立を促進する。</p> <p>1 区調達実績の公表</p> <p>平成 25 年度 29 件 41,148,748 円</p> <p>平成 26 年度 27 件 43,691,207 円</p> <p>(平成 26 年度内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>件 数</th> <th>金 額 (円)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>封入封緘発送</td> <td>9</td> <td>18,017,550</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷</td> <td>5</td> <td>1,109,827</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物等清掃</td> <td>3</td> <td>13,542,345</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10</td> <td>11,021,485</td> <td>防災備品購入、 公用リサイクル 自転車整備等</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>27</td> <td>43,691,207</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			内 容	件 数	金 額 (円)	備 考	封入封緘発送	9	18,017,550		印刷	5	1,109,827		建物等清掃	3	13,542,345		その他	10	11,021,485	防災備品購入、 公用リサイクル 自転車整備等	合 計	27	43,691,207	
内 容	件 数	金 額 (円)	備 考																								
封入封緘発送	9	18,017,550																									
印刷	5	1,109,827																									
建物等清掃	3	13,542,345																									
その他	10	11,021,485	防災備品購入、 公用リサイクル 自転車整備等																								
合 計	27	43,691,207																									

平成 2 7 年度 第 1 回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成 2 7 年 7 月 2 7 日

件 名	難病医療費助成等の指定難病の拡大及び足立区難病患者福祉手当の対象疾病の拡大について																
所 管 部 課	衛生部足立保健所保健予防課、福祉部障がい福祉課																
内 容	<p>難病の患者に対する医療等に関する法律（平成 2 6 年法律第 5 0 号）の改正に伴い、厚生労働大臣が指定する指定難病が平成 2 7 年 7 月 1 日付で 3 0 6 疾病へと拡大されたため、同日付で区の医療費助成等の対象も同じく拡大する。</p> <p>一方、足立区難病患者福祉手当の対象疾病は、東京都難病医療費助成制度に準じて定めている。このため、これに伴い、足立区難病患者福祉手当条例施行規則の一部を改正し、支給対象疾病を以下のとおり拡大する。</p> <p>1 内容</p> <table border="0" data-bbox="470 1144 1433 1357"> <tr> <td>改正前対象疾病数</td> <td>1 3 3 疾病</td> <td>改正後疾病数</td> <td>3 2 6 疾病</td> </tr> <tr> <td colspan="4">（内訳）</td> </tr> <tr> <td>・国指定疾病数</td> <td>1 1 0 疾病</td> <td>3 0 6 疾病</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・都単独その他疾病数</td> <td>2 3 疾病</td> <td>2 0 疾病</td> <td></td> </tr> </table> <p>詳細は、別紙 資料 1 4 - 1 のとおり</p> <p>2 適用年月日 平成 2 7 年 7 月 1 日</p>	改正前対象疾病数	1 3 3 疾病	改正後疾病数	3 2 6 疾病	（内訳）				・国指定疾病数	1 1 0 疾病	3 0 6 疾病		・都単独その他疾病数	2 3 疾病	2 0 疾病	
改正前対象疾病数	1 3 3 疾病	改正後疾病数	3 2 6 疾病														
（内訳）																	
・国指定疾病数	1 1 0 疾病	3 0 6 疾病															
・都単独その他疾病数	2 3 疾病	2 0 疾病															

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病
(1～110については平成27年1月から医療費助成及び手当支給を開始)

番号	病名
1	球脊髄性筋萎縮症
2	筋萎縮性側索硬化症
3	脊髄性筋萎縮症
4	原発性側索硬化症
5	進行性核上性麻痺
6	パーキンソン病
7	大脳皮質基底核変性症
8	ハンチントン病
9	神経有棘赤血球症
10	シャルコー・マリー・トゥース病
11	重症筋無力症
12	先天性筋無力症候群
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー
15	封入体筋炎
16	クドウ・深瀬症候群
17	多系統萎縮症
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
19	ライソゾーム病
20	副腎白質ジストロフィー
21	ミトコンドリア病
22	もやもや病
23	プリオン病
24	亜急性硬化性全脳炎
25	進行性多巣性白質脳症
26	HTLV-1関連脊髄症
27	特発性基底核石灰化症
28	全身性アミロイドーシス
29	ウルリッヒ病
30	遠位型ミオパチー
31	ベスレムミオパチー
32	自己貪食空胞性ミオパチー
33	シュワルツ・ヤンペル症候群
34	神経線維腫症
35	天疱瘡
36	表皮水疱症
37	膿疱性乾癬(汎発型)
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群
39	中毒性表皮壊死症
40	高安動脈炎
41	巨細胞性動脈炎
42	結節性多発動脈炎
43	顕微鏡的多発血管炎
44	多発血管炎性肉芽腫症
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
46	悪性関節リウマチ
47	バージャー病
48	原発性抗リン脂質抗体症候群
49	全身性エリテマトーデス
50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎
51	全身性強皮症
52	混合性結合組織病
53	シェーグレン症候群
54	成人スチル病

番号	病名
56	ベーチェット病
57	特発性拡張型心筋症
58	肥大型心筋症
59	拘束型心筋症
60	再生不良性貧血
61	自己免疫性溶血性貧血
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症
63	
64	血栓性血小板減少性紫斑病
65	原発性免疫不全症候群
66	IgA 腎症
67	多発性嚢胞腎
68	黄色靭帯骨化症
69	後縦靭帯骨化症
70	広範脊柱管狭窄症
71	特発性大腿骨頭壊死症
72	下垂体性ADH分泌異常症
73	下垂体性TSH分泌亢進症
74	下垂体性PRL分泌亢進症
75	クッシング病
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症
78	下垂体前葉機能低下症
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
80	甲状腺ホルモン不応症
81	先天性副腎皮質酵素欠損症
82	先天性副腎低形成症
83	アジソン病
84	サルコイドーシス
85	特発性間質性肺炎
86	肺動脈性肺高血圧症
87	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
89	リンパ脈管筋腫症
90	網膜色素変性症
91	バッド・キアリ症候群
92	特発性門脈圧亢進症
93	原発性胆汁性肝硬変
94	原発性硬化性胆管炎
95	自己免疫性肝炎
96	クローン病
97	潰瘍性大腸炎
98	好酸球性消化管疾患
99	慢性特発性偽性腸閉塞症
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
101	腸管神経節細胞僅少症
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群
103	CFC症候群
104	コステロ症候群
105	チャーシ症候群
106	クリオピリン関連周期熱症候群
107	全身型若年性特発性関節炎
108	TNF受容体関連周期性症候群
109	非典型溶血性尿毒症症候群

55	再発性多発軟骨炎
----	----------

110	ブラウ症候群
-----	--------

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病
(111～306については平成27年7月から医療費助成及び手当支給を開始)

番号	病名
111	先天性ミオパチー
112	マリネスコ・シェーグレン症候群
113	筋ジストロフィー
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
115	遺伝性周期性四肢麻痺
116	アトピー性脊髄炎
117	脊髄空洞症
118	脊髄髄膜瘤
119	アイザックス症候群
120	遺伝性ジストニア
121	神経フェリチン症
122	脳表ヘモジデリン沈着症
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
126	ペリー症候群
127	前頭側頭葉変性症
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症
130	先天性無痛無汗症
131	アレキサンダー病
132	先天性核上性球麻痺
133	メビウス症候群
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
135	アイカルディ症候群
136	片側巨脳症
137	限局性皮質異形成
138	神経細胞移動異常症
139	先天性大脳白質形成不全症
140	ドラベ症候群
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
142	ミオクロニー欠神てんかん
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
144	レノックス・ガストー症候群
145	ウエスト症候群
146	大田原症候群
147	早期ミオクロニー脳症
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
150	環状20番染色体症候群
151	ラスムッセン脳炎
152	P CDH19関連症候群
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
155	ランドウ・クレフナー症候群
156	レット症候群
157	スタージ・ウェーバー症候群
158	結節性硬化症

番号	病名
159	色素性乾皮症
160	先天性魚鱗癬
161	家族性良性慢性天疱瘡
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
163	特発性後天性全身性無汗症
164	眼皮膚白皮症
165	肥厚性皮膚骨膜炎
166	弾性線維性仮性黄色腫
167	マルファン症候群
168	エーラス・ダンロス症候群
169	メンケス病
170	オキシピタル・ホーン症候群
171	ウィルソン病
172	低ホスファターゼ症
173	VATER症候群
174	那須・ハコラ病
175	ウィーバー症候群
176	コフィン・ローリー症候群
177	有馬症候群
178	モワット・ウィルソン症候群
179	ウィリアムズ症候群
180	ATR-X症候群
181	クルーゾン症候群
182	アペール症候群
183	ファイファー症候群
184	アントレー・ピクスラー症候群
185	コフィン・シリズ症候群
186	ロスムンド・トムソン症候群
187	歌舞伎症候群
188	多脾症候群
189	無脾症候群
190	鰓耳腎症候群
191	ウェルナー症候群
192	コケイン症候群
193	プラダー・ウィリ症候群
194	ソトス症候群
195	ヌーナン症候群
196	ヤング・シンブソン症候群
197	1p36欠失症候群
198	4p欠失症候群
199	5p欠失症候群
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
201	アンジェルマン症候群
202	スミス・マギニス症候群
203	22q11.2欠失症候群
204	エマヌエル症候群
205	脆弱X症候群関連疾患
206	脆弱X症候群
207	総動脈幹遺残症
208	修正大血管転位症
209	完全大血管転位症
210	単心室症

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病
(111～306については平成27年7月から医療費助成及び手当支給を開始)

番号	病名
211	左心低形成症候群
212	三尖弁閉鎖症
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
215	ファロー四徴症
216	両大血管右室起始症
217	エプスタイン病
218	アルポート症候群
219	ギャロウェイ・モワト症候群
220	急速進行性糸球体腎炎
221	抗糸球体基底膜腎炎
222	一次性ネフローゼ症候群
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎
224	紫斑病性腎炎
225	先天性腎性尿崩症
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)
227	オスラー病
228	閉塞性細気管支炎
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)
230	肺胞低換気症候群
231	1-アンチトリプシン欠乏症
232	カーニー複合
233	ウォルフラム症候群
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)
235	副甲状腺機能低下症
236	偽性副甲状腺機能低下症
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
240	フェニルケトン尿症
241	高チロシン血症1型
242	高チロシン血症2型
243	高チロシン血症3型
244	メーブルシロップ尿症
245	プロピオン酸血症
246	メチルマロン酸血症
247	イソ吉草酸血症
248	グルコーストランスポーター1欠損症
249	グルタル酸血症1型
250	グルタル酸血症2型
251	尿素サイクル異常症
252	リジン尿性蛋白不耐症
253	先天性葉酸吸収不全
254	ポルフィリン症
255	複合カルボキシラーゼ欠損症
256	筋型糖原病
257	肝型糖原病
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症

番号	病名
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
260	シトステロール血症
261	タンジール病
262	原発性高カイロミクロン血症
263	脳腱黄色腫症
264	無リポタンパク血症
265	脂肪萎縮症
266	家族性地中海熱
267	高IgD症候群
268	中條・西村症候群
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
270	慢性再発性多発性骨髄炎
271	強直性脊椎炎
272	進行性骨化性線維異形成症
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症
274	骨形成不全症
275	タナトフォリック骨異形成症
276	軟骨無形成症
277	リンパ管腫症/ゴーム病
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
282	先天性赤血球形成異常性貧血
283	後天性赤芽球癆
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
285	ファンコニ貧血
286	遺伝性鉄芽球性貧血
287	エプスタイン症候群
288	自己免疫性出血病XIII
289	クロンカイト・カナダ症候群
290	非特異性多発性小腸潰瘍症
291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)
292	総排泄腔外反症
293	総排泄腔遺残
294	先天性横隔膜ヘルニア
295	乳幼児肝巨大血管腫
296	胆道閉鎖症
297	アラジール症候群
298	遺伝性腭炎
299	嚢胞性線維症
300	IgG4関連疾患
301	黄斑ジストロフィー
302	レーベル遺伝性視神経症
303	アッシャー症候群
304	若年発症型両側性感音難聴
305	遅発性内リンパ水腫
306	好酸球性副鼻腔炎

東京都難病患者医療費等助成制度に規定する指定難病
(平成27年7月から手当支給を開始)

1	進行性筋ジストロフィー(遠位型ミオパチーを除く。)
2	ウィルソン病
3	脊髄空洞症
4	骨髄線維症
5	悪性高血圧
6	ネフローゼ症候群(IgA腎症を除く。)
7	母斑症
8	肝内結石症
9	ミオトニー症候群(シュワルツ・ヤンペル症候群を除く。)
10	特発性好酸球増多症候群
11	強直性脊椎炎
12	びまん性汎細気管支炎
13	遺伝性QT延長症候群
14	先天性ミオパチー
15	網膜脈絡膜萎縮症
16	人工透析を必要とする腎不全
17	スモン
18	プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)
19	先天性血液凝固因子欠乏症等
20	點頭てんかん